

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	総合相談補助事業	会計	一般会計	事業No.	123	施策順No.	36-006
		事業種別	政策・その他	予算科目	3-1-1-14-3		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	福祉課		
施策	36 生活困難者の自立及び支援			事業期間	開始	S35	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民 補助金支出先: 飯田市社会福祉協議会						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の人口(人) (H21.10.1推計人口)	107259	106630	105691	105036	105036	
	意図	広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言・指導を行い問題解決の援助を行う 結婚希望者に対し紹介や仲介することにより結婚を成立させる						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	助言指導ができた割合/相談の受付件数(一般心配ごと相談、特別心配ごと相談、法律相談の計)(%)	80	80	80	80	80	80	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	市民からの日常生活における困りごとに対し、各種相談窓口により、的確な助言・指導を行った							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	市民の日常生活における各種相談窓口を開設している、市社会福祉協議会への補助事業。 1 一般心配ごと相談 2 特別心配ごと相談 3 法律相談 4 結婚相談		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 一般心配ごと相談(随時)の機能を高め、権利擁護・成年後見等の相談にも乗れるよう専門職員を配置。地域包括支援センターとの連携も意識し実施。 (1)一般心配ごと相談一月曜日～金曜日 (2)特別心配ごと相談一毎週火曜日 (3)法律相談一毎月第2金曜日 (4)結婚相談一毎月第2・3日曜日 ※結婚支援については平成22年度より、「結婚支援アドバイザー設置事業」にて管理。	1 相談受付件数 (1)一般心配ごと相談 (2)特別心配ごと相談 (3)法律相談 (4)結婚相談	1 970件 (1)282件 (2)327件 (3)91件 (4)270件
23年度実施計画	1 一般心配ごと相談(随時)の機能を高め、権利擁護・成年後見等の相談にも乗れるよう専門職員を配置。地域包括支援センターとの連携も意識し実施。 (1)一般心配ごと相談一月曜日～金曜日 (2)特別心配ごと相談一毎週火曜日 (3)法律相談一毎月第2金曜日 (4)結婚相談一毎月第2・3日曜日	1 相談受付件数 (1)一般心配ごと相談 (2)特別心配ごと相談 (3)法律相談 (4)結婚相談	1 650件 (1)100件 (2)200件 (3)100件 (4)250件

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		2,039	2,039	1,989		
計(A)		2,039	2,039	1,989		
正規職員所要時間			5			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			18			
トータルコスト A+B			2,057			

4 事業に対する市民や議会の意見

低所得階層ほど日常生活での悩みも多く、無料の相談窓口はなくてはならない。
法律相談・特別心配ごと相談は毎回相談者で溢れ好評。
第5次基本構想基本計画推進委員会より、目的別ではなく総合的に相談することのできる窓口が必要との提言があった。また、市議会からも、経済危機により増加する生活困窮者の相談体制を強化されたいとの提言があった。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	生活に困っている人の課題や不安を少なくする	施策の成果指標又はムトス指標	生活相談者数/人口(外国人を含む)(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	各種相談窓口を開設し、助言・指導を行うことで、市民の課題や不安の解消につながった。		
	後期に向けた課題	引き続き、困っている人の課題や不安を減少する取り組みが必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	適切な助言・指導ができるよう対応する者の資質向上に取り組んでいる。また、相談しやすい環境を整備している。		
	後期に向けた課題	引き続き、相談しやすい環境の整備、適切な助言・指導が必要である。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	必要最小限のコストで事業を行っている。		
	後期に向けた課題	引き続き、最小限のコストでより多くの相談を解決できるよう努力する必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	相談に対して費用を求めるものではない。		
	後期に向けた課題	引き続き、困っている人が気軽に相談できる窓口である必要があるため、費用を求めものではない。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	社会福祉協議会が各種相談窓口を実施している。市はその経費に対して補助金を支出している。		
	後期に向けた課題	引き続き、様々な相談に対応できるよう各種相談窓口を設置する必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	様々な分野にわたる相談ごとを、各種相談窓口により対応できている。		
	後期に向けた課題	引き続き、より相談しやすく、課題や不安を解決できるよう努めていく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--